

平成22年度放課後子ども教室推進事業の効果及び成果に関する調査結果について

I 調査概要

1 調査目的

県内の放課後子ども教室の実施状況を把握し、事業の効果を検証するとともに、今後の放課後子ども教室の推進を図る。

2 調査方法

質問紙による調査

3 調査期間

平成22年10月25日（月）から平成23年1月20日（木）

4 調査対象

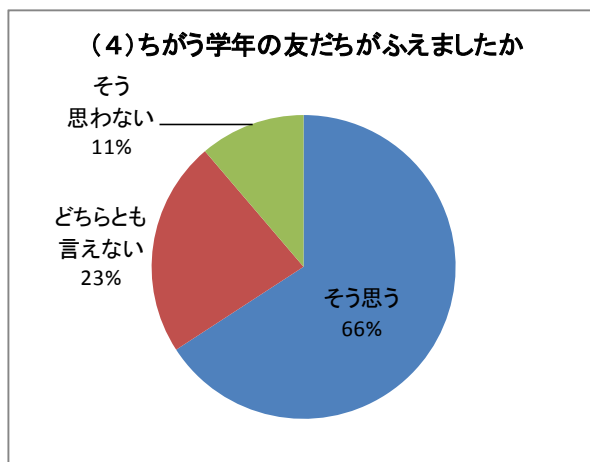
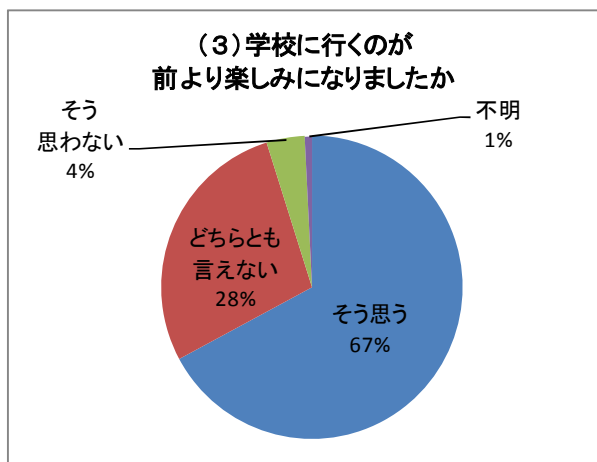
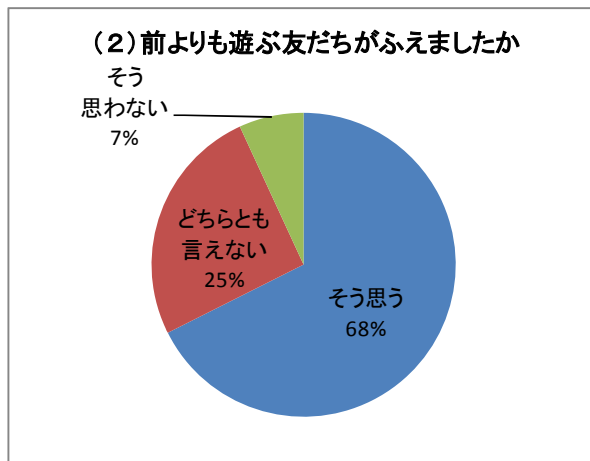
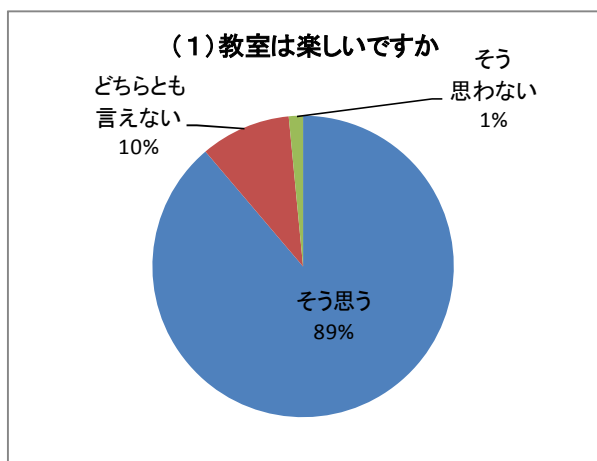
県内放課後子ども教室実施市町 9市町 21教室

調査1：子ども	392人
調査2：保護者	348人
調査3：安全管理員・学習アドバイザー	198人
調査4：担当者・コーディネーター	15人
合計	953人

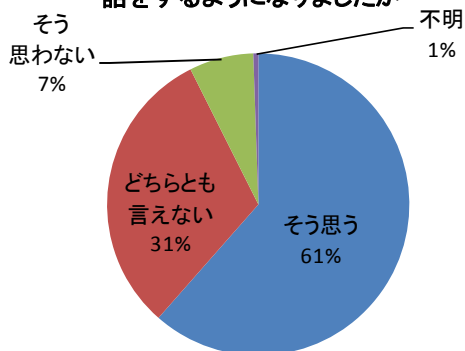
II 調査結果

(1) 調査1：子ども対象

1. 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。



(5)地域の大人の人とあいさつをしたり、話をするようになりましたか



2. 放課後子ども教室で楽しみにしていることは何ですか。

- ・友達と遊ぶこと ・友達と話をすること ・他の学年の人とも遊べること
- ・しゃべる相手がいること ・好きな人に会えること ・短大生と遊ぶこと ・外で遊ぶこと
- ・行事に参加すること ・家や学校にはない遊具で遊べること ・卓球 ・サッカー
- ・野球 ・ドッジボール ・バドミントン ・バスケットボール
- ・ビーチボールバレー ・工作 ・エコクラフト ・手芸 ・お絵かき ・絵手紙
- ・あやとり ・おはじき ・おてだま ・かるた ・ブリッジ ・お菓子やパン作り
- ・調理（餃子、ホットケーキ） ・お茶会 ・誕生日会 ・クリスマスパーティー
- ・ビデオやDVD ・UNO ・オセロ ・ジェンガ ・レゴ ・ドミノ大会
- ・ビンゴゲーム ・将棋 ・太鼓 ・こま遊び ・ビーズづくり
- ・お店屋さんごっこ ・読書 ・朝の学習 ・プリント学習 ・宿題
- ・竹の棒とび ・氷鬼 ・けいどろ ・なわとび ・輪投げ ・鉄棒
- ・ハイキング ・一輪車 ・竹馬 ・体育館で遊ぶこと ・電卓で遊ぶこと
- ・折り紙で飛行機を作ること ・バランスボールに乗って遊ぶこと ・風鈴の絵付け
- ・みんなで川とびとおにごっこ ・おはやしのチャンチキ
- ・小池さんが教えてくれた編み物 ・あづきさんとやる石を使ったおもちゃづくり
- ・先生との試合 ・お弁当の時間 ・茶道の作法

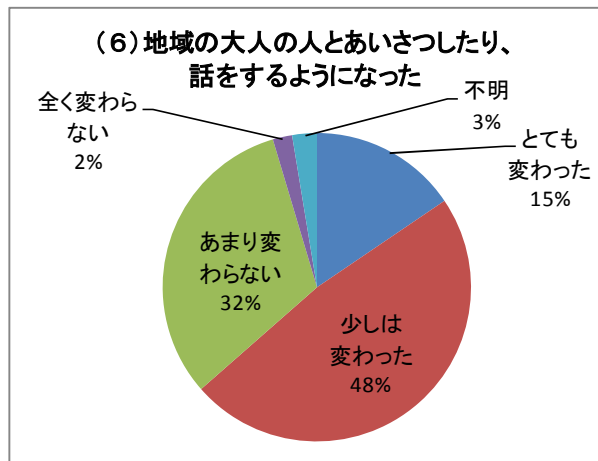
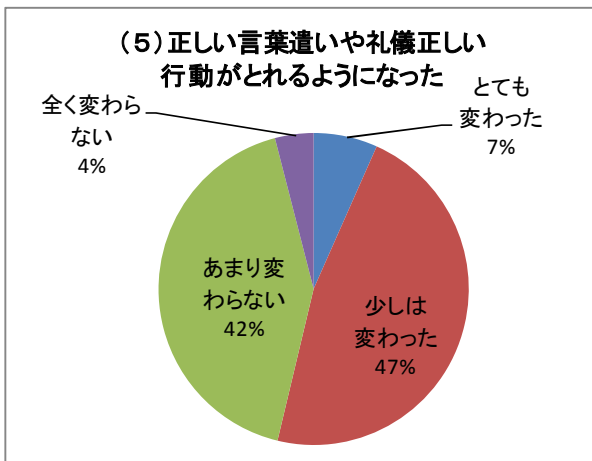
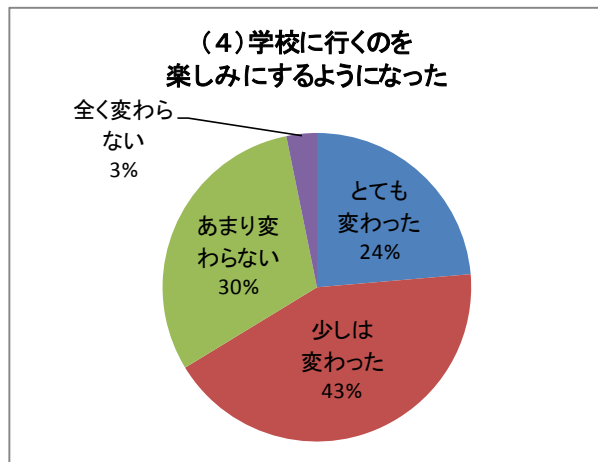
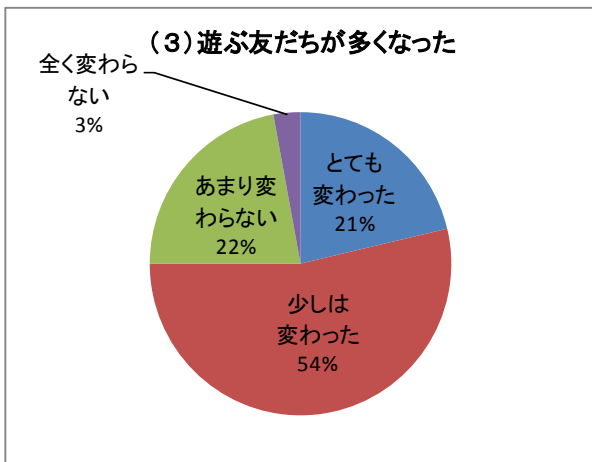
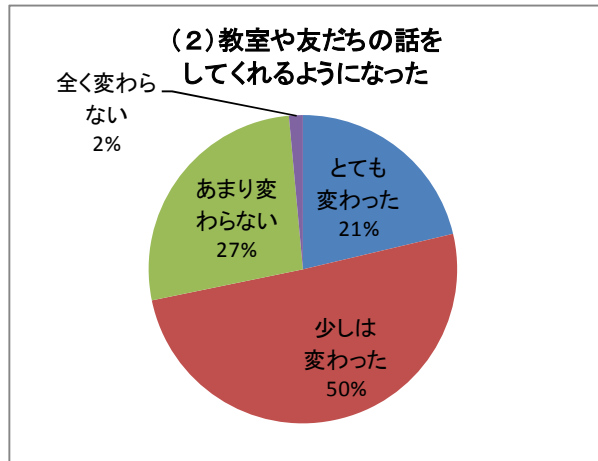
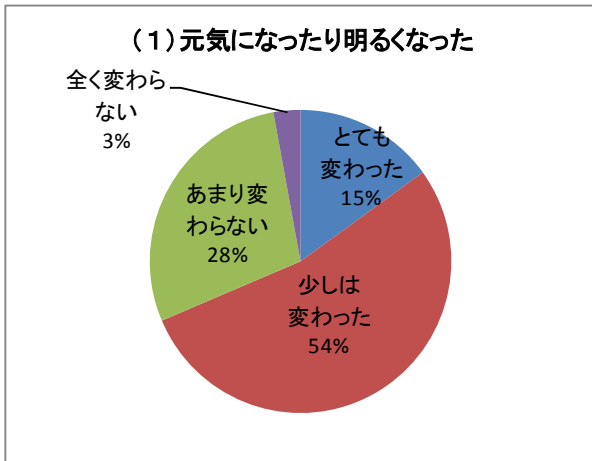
【子どもたちの声】

- ・一人っ子なので、年上の人や同じ年の人と外遊びができることがうれしい。
- ・いろいろな学年の人たちと一緒にスポーツができることが楽しい。
- ・いっぱい友だちができる。
- ・クラスが違ってしまった友達に会える。
- ・休み時間よりもみんなと仲良く遊べる。
- ・先生と話したり遊んだりすることが楽しい。
- ・ボランティアさんに会えることを楽しみにしている。
- ・いろいろな物を作ったり教えてもらえる。
- ・大沢地区センターの中庭で鬼ごっこをすることが楽しい。
- ・教室がある日をとても楽しみにしていて、行く日を待っている。
- ・宿題のわからないところを教えてくれるのがうれしい。
- ・勉強が楽しい。国語の授業も前より楽しくなった。
- ・普段家でできないようなことができる。
- ・毎回どんなことをするのかわくわくしている。

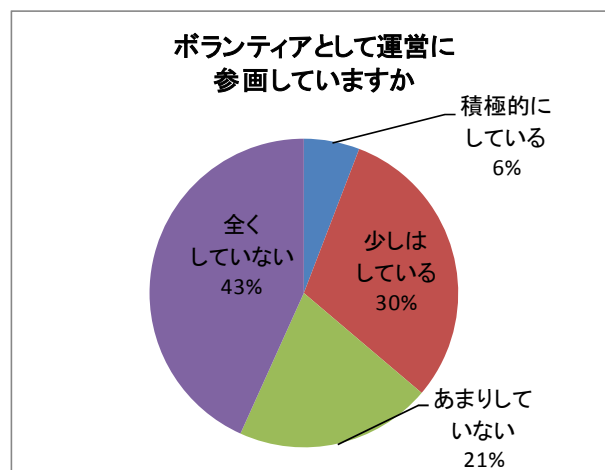
多くの子どもが、放課後子ども教室を楽しみにしていることがわかった。教室において、子どもたちは異なるクラス・学年の友だちや地域のボランティアの方々とのふれあいや交流を楽しみにしているようである。教室が、子どもたちの人間関係の広がりには良い影響を与えていることがわかった。

(2) 調査2：保護者対象

1. 放課後子ども教室に子どもを参加させて変容は見られましたか。



2. (1) 機会があればボランティアとして運営に参加したいですか。



(2) ボランティアとして運営に参加するために希望することは何ですか。

- 先生方との交流を増やし、意見を聞きたいです。
- どのようなボランティアがあるのかを知りたいです。
- 保護者同士や保護者と子どもなどの交流を図る場が多くあればと思います。
- 働いている人も交流できるようなものがあると参加しやすいです。
- 時間帯があえば参加できると思います。
- 参加できる時間が限られているので、いつも参加できるようなシステムがあればいいと思います。
- 当番制にして保護者全員参加にしてはどうでしょうか。随時見学しやすい雰囲気を作ってください。
- 子ども教室に参加できない未就学児の子どもも一緒に参加させてほしいです。
- 一日のサポートする保護者の人数を少し増やしてほしいと思います。
- 自分の親が参加すると子どもがのびのびと何も気にせずすごせる場ではなくなってしまうと思うので、年に1～2回の親子参加でもあればいいなと思います。
- 具体的なボランティアの内容、時間、応募方法などを貼ってくれば、見て考える機会があると思います。
- 行事等のより一層の周知を図ってください。
- ボランティアの活動内容を詳しく知らせてほしいです。
- 土日も1日開放してくれば、仕事をしている人も参加しやすいと思います。
- 協力したくても声をかけてもらえないと入れない人もいます。お迎えのときに中に入って見学してもらい、参加してくださいと声をかければ、協力者も増えるのではないのでしょうか。
- △今までどおりでいいと思います。
- △毎回違うことをしているという印象があるので、週ごとにやることが決まっていたり、課題を解決するといったことも良いかと思います。
- ボランティアの方々がいるということを知りませんでした。
- 下の子が小さいためボランティアに参加していません。
- 先に登録した人たちだけで十分な様子があり、後からは入りにくいです。
- 自分にできることがわかりません。
- 参加の仕方がわかりません。
- 子どものみ利用する場の印象があり、保護者は教室に入ることができない印象があります。
- 周りに利用している子どもが少ないため、単独で参加しづらいです。
- 自分が時間をとれないので参加できません。
- 自分の子どもだけでも大変です。
- 仕事や部活の迎えなどがあるのでなかなか難しいです。
- 仕事のため参加できません。協力してくださっている方には感謝しています。いつか機会があれば参加したいです。
- フル勤務なので協力できず申し訳ありません。土日の企画にはこれからも参加していこうと思います。

(3) 教室の運営について

〈成果〉

① 子どもの様子、変化等

- ・違う学校、学年の子と遊べてよい体験になっています。
- ・普段なかなかお年寄りの方とふれあうことができないので、教室で昔遊び等のいろいろなことを学ぶことができ幸せなことだと思います。
- ・授業とは違うので子どもが楽しみにしている時間らしく、帰ってくると教室の話をよくしてくれます。先生でもなく、地域の人と接することで近所の大人の方とも話しやすくなってきたようです。
- ・教室に行くのをとても楽しみにしています。今までできなかったことができるようになって、子どもの自信につながりました。
- ・子ども教室でいつもお世話になっています。今のところ特にトラブルもなく、安心して教室へ行って遊んでくれることがうれしいようです。宿題もやってくるので、親としては助かっています。これからもよろしく願いいたします。
- ・子ども教室に参加して、子どもたちが少し落ち着いてきたのを感じました。まだ勝手に話をしてしまう子などいますが、注意するとわかるようになった気がします。
- ・子どもが毎回幸せそうな顔で帰ってくるので、子ども教室に参加できて本当によかったと思います。

② 活動内容等

- ・学校が休みの土曜日に遊ぶ場を作っていただけのもありがたいと思います。
- ・いつも子どもたちの喜ぶ遊びを教えてください、いろいろな体験をさせてくださるのでありがたいです。
- ・紙飛行機の作り方や絵の指導等、遊び感覚でやっていただけるのでとてもありがたいと思っています。家庭で教えられないようなことをもっと教えていただけたらと思います。
- ・小物作りの作品は家でも使用しています。
- ・毎回折り紙の作品を持ち帰ってくるのがとても楽しみです。
- ・子どもたちは興味をひきつけるようなイベントを楽しみにしています。
- ・絞り染めなどの家庭ではできないことを教えていただいて喜んでいきます。遊びに使用する材料(割り箸、ゴム、ボタン等)は、材料費の請求や寄付を募るなどしていただいてもいいです。
- ・勉強も見てくださっているので喜んでいきます。
- ・楽しい雰囲気です。あいさつなどを多くの方々から教えていただく機会が増えて、大変喜んでいきます。学校以外の場所で過ごさせていただけで助かっています。また、自然体験や調理、学習など、様々なカリキュラムを作っていただけで幸せです。

③ 安全管理員、学習アドバイザー、地域ボランティア等

- ・いつもお世話になり感謝しています。ありがとうございます。
- ・子どもはいつも楽しそうに遊んでいます。見てくださる大人の方には本当に感謝にしています。ありがとうございます。
- ・子どもは先生方をとても慕って楽しく過ごしています。
- ・いつも子どもに優しく接してくれてありがたいです。
- ・スタッフが優しいです。
- ・とても良い先生ばかりで、安心して子どもをあずけられてありがたいです。
- ・先生を子どもが大変信頼しており、頼もしく感じています。
- ・いつも楽しく活動させてもらって助かっています。
- ・しっかり子どもをサポートしていただき感謝しています。
- ・良く見ていただいているので満足しています。
- ・いつも子どもと一緒に遊んでいただきありがとうございます。家に帰ってきてからもふれあいスクールのお話をよくしますし、毎週楽しみにしているようです。これからもよろしく願いいたします。
- ・子ども同士の遊びだけではできない体験をさせていただき感謝しています。新しいことを教えていただくのと家で楽しそうに話をしてくれます。
- ・ボランティアとして活動されていらっしゃる地域の方々のパワーやバイタリティー、団結力に感心していると同時に感謝しております。

④ その他

- ・低学年だけでの下校が心配なので、高学年の兄弟たちと下校できて安心です。
- ・いろいろなクラスの友達と遊べるので、クラス替えのときに不安がなくいいです。
- ・学校が終わってから、子ども教室のようにのびのび体を動かして遊ぶ場がほとんどなく、子どもたちはとても楽しんでいるように感じます。ボランティアの方々も子どもたちと一緒に遊んでくださっているのでもって感謝しています。ありがとうございます。
- ・家でできないようなことも体験させてもらえるのでありがたいと思います。月2回程度で子どもも無理なく参加できる点も良いと思います。実費を要するところ以外では費用もかからず助かります。いつも明るく受け入れていただけるので安心してお願いしています。ありがとうございます。
- ・放課後に子どもを思い切り遊ばせたくても、近くに広い公園がなかったり、仲良しの友だちの家が遠かったりとなかなか遊べない中、子ども教室は親子ともにとってもありがたく、感謝しております。
- ・大人の人数が足りない場合は、前もって手伝えるかどうか声をかけてもらえれば手伝えるかもしれません。今後、昔の遊び(ドロケイ、クツオニ、ゴム跳び、オニクドン等)を子どもたちに教えてもらいたいです。
- ・私自身は下の子がまだ小さいので参加したことがないのですが、機会があったらぜひ足を運びたいと思います。
- ・時にはお友達とけんかをすることもありますが、宿題をみてもらったり、工作をしたり(資源を無駄にしないようリサイクル)、様々な知恵を使った遊び方等、大変感謝しています。また、共働きで

あり、その間、子どもが退屈しないどころか楽しみにしている教室があつてありがたく思います。

- ・教室で、子どもが上級生とトラブルになった際に、学校の担任の先生と連絡をとっていただき、対応いただいたこと、大変ありがたく感謝申し上げます。これからも見守っていただきたいです。
- ・友だち宅へ行くとほとんどゲームで終わってしまうことを考えても、教室で過ごす時間は貴重です。ぜひ時間を増やしてほしいです。

《課題》

① 活動内容等

- ・たくさん子どもたちが参加できるものや、参加しやすいものを期待しています。
- ・無理をして、毎年地域の文化祭へ参加しなくてもいいと思います。
- ・低学年は、遅い時間前の練習など、体力的に無理に見えます。

② 周知、広報等

- ・放課後の活動を知らない人が多いので、何かの機会に説明があると良いと思います。
- ・放課後どんなことをやっているのかわかりません。月ごとに保護者にお知らせがあると良いと思います。
- ・子ども教室の予定をもっと早く知らせてほしいです。他の公民館行事や学校行事と日にちが重ならないように検討してほしいです。

③ 運営等

- ・小学校のところにあるふれあい館が今年度で終わりにになってしまうので、5時までではなくても毎日お願いできたら助かります。特に低学年は下校が早いので…。
- ・ボランティアの皆様には大変お世話になり、感謝しております。運営は大変だと思いますが、現在の週1回の活動では少ないと感じています。保護者の当番制でも良いと思いますので、日数を多くしたほうが参加者も増えるのではないのでしょうか。
- ・長期休業中にも実施してほしいです。
- ・臨時預かりがあれば良いなと思います。(1日預けただけでも月額を払うのは大変です。)
- ・対象者を小学3年生までから小学6年生までにしていただけると家庭はとても助かります。
- ・教室への参加申込み期間に申込みができなかったため、参加させたかったのにできなかったと言っていた保護者がいました。期間をもう少し長くするか、常時申し込み可能にするのは難しいのでしょうか。

④ その他

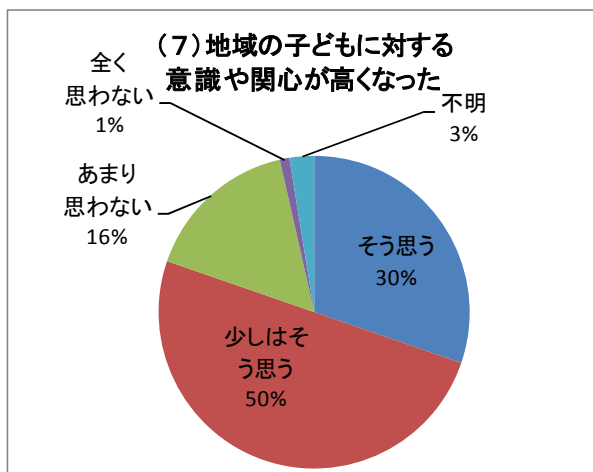
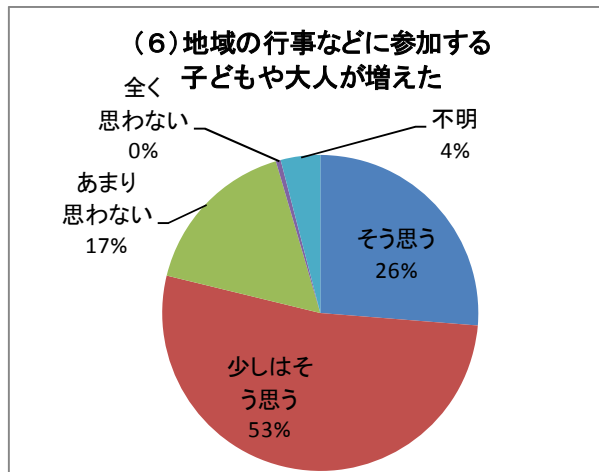
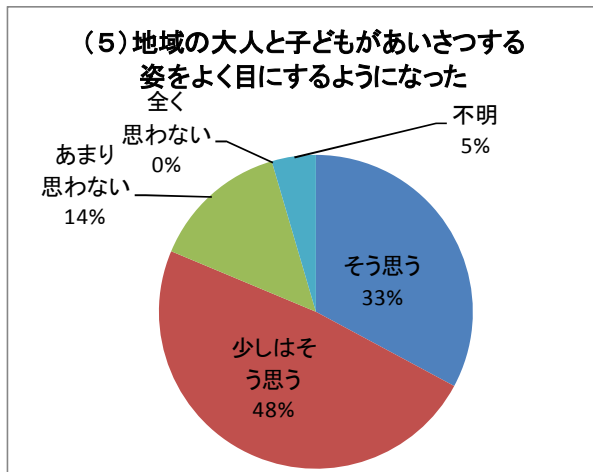
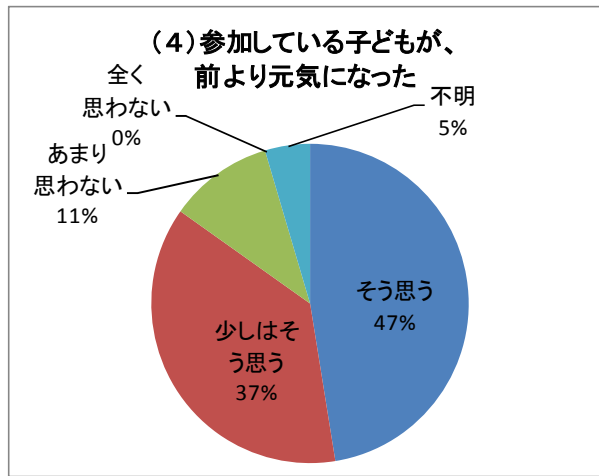
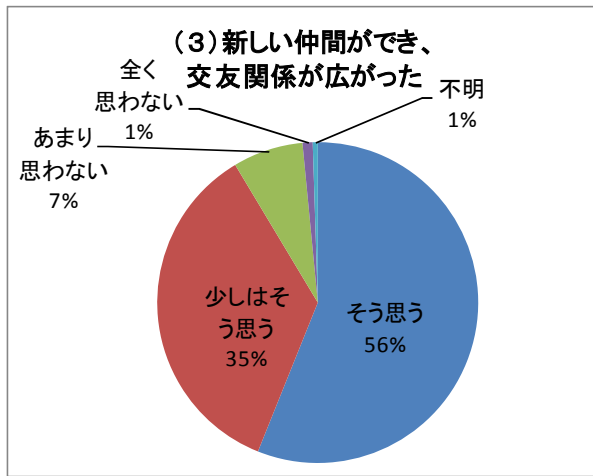
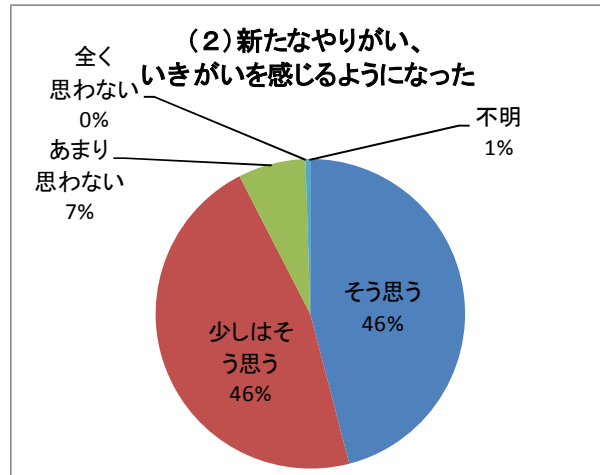
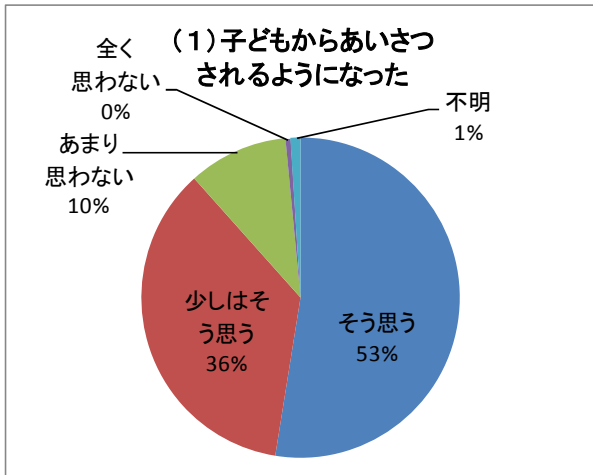
- ・いつもお世話になりありがとうございます。うちの子も含め、数人の下級生の子がある保護者にしかられていることがありました。悪いことをしてあやまるのは当たり前のことですが、その場の状況があまりにも一方的だったように感じました。子どもから話を聞きましたが、その場にいたボランティアさんからももう少し詳しく話を聞きたかったです。
- ・残念なことに、子どもはゆとりの時間をそんなには楽しみにしていないので、その分早く家に帰れた方が疲れもとれるのでうれしいようです。
- ・教室でのルールなどを決め、宿題の時間、遊びの時間をきちんと決めていただきたいです。
- ・生涯学習課と放課後子ども教室の先生の連絡をもっと密にしてほしいです。4年生になっても長期休暇のときなどは見てほしいです。
- ・土曜日は昔のように半日学校に行つて勉強してほしい。(週休2日の廃止)
- ・工作の材料費等のお金を持参させる場合は、プリント等での説明がほしいです。また、学校へお金を持っていかせることが心配でした。

放課後子ども教室の運営にかかわるボランティア等への感謝の言葉が大変多く聞かれた。各家庭ではなかなかできない体験活動や様々な年代の方との交流が子どもたちに良い影響を与えていることを感じている保護者が多くいることがわかった。

また、今後、教室運営に参画する気持ちのある保護者も多くいることがわかった。活動の情報発信や保護者同士・保護者と地域ボランティアの交流会の実施等、保護者がかかわりやすくなるような働きかけをしていくことも重要である。

(3) 安全管理員、学習アドバイザー対象

1. 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。



2. 教室の運営について

《子どもの様子》

- ・子ども教室を始めて約3年になりますが、以前より子どもたちの元気さや明るさが増してきたように思います。
- ・子どもたちが自主的に参加しているのではなく、親に言われての参加となると、遊びの部分は楽しいが、学びの部分ではつまらないと感じていて、子どもたちの気持ちをまとめることはなかなか難しいと感じます。
- ・学校や違う場所で会ったときなど、顔は少し覚えていただいていると思うのですが、少し恥ずかしいなどで、特にあいさつなどはありません。しかし、小学生なので仕方ないと私自身は理解しております。
- ・子どもたちからあいさつはあるが、元気が足りないと思います。
- ・以前よりあいさつができていたので良いと思っています。
- ・子ども間の言葉遣いが少し荒れているような気がします。
- ・子どもたちがのびのび参加、活動している。そんな姿を見ると、もっと多くの子どもたちに参加してもらえたらと思います。
- ・地域の人と交流することができたり、なかなか体験できないことを体験できたりと、子どもたちも楽しみにしているようです。
- ・季節ごとの行事などにとっても楽しく参加している様子が見られます。地域の方と一緒にたまねぎを植えたり、お茶をしたり、良い体験ができています。家族や先生以外の方と話すことで、子どもたちもコミュニケーションを学んだりできるのではないのでしょうか。
- ・外で元気に遊ぶことや仲間と様々な遊びを体験することはすごくよい環境だと思っています。
- ・いわゆる躰も少しずつ学んでいってくれるとうれしいです。
- ・宿題もやっとなら自分からやるようになり、また、週1回の講座でいろいろな物を作ったりと、楽しくやるようになりました。
- ・年ごとに成果が現れてきているように感じます。最近では、子どもたちも私たちが近所のおじさん、おばさんとして親しく接してきます。私も子どもたちを見守りながら新しい遊びを提案したりと、子どもたちが仲良く遊んで、温かい気持ちで家庭に帰れるよう手助けしたいです。
- ・集中力がなく、飽きっぽい子が多いと思います。活動をとおして改善できるよう考えてみたいです。

《自分自身》

- ・今年度は少ししか活動に参加できませんでした。少しでも参加し、子どもたちとともに地域が元気になればと思っています。
- ・遊びや宿題等、丁寧、親切な言葉かけで指導していただき、子どもたちも穏やかな心で応じているのがわかります。引き続き楽しい時間を過ごせるように、微力ながら協力することができたらと思います。
- ・子どもたちも自分もいろいろな体験ができます。これからは参加できるものには参加していきたいです。
- ・今まで教室の運営にあまり積極的にかかわることができず、私自身残念に思っています。私たちがボランティアで参加できることを考えながら、みなさんとの協働ができればと思っています。
- ・子どもたちの生活における居場所の一部としての子ども教室であり、私たちのこの活動が意味あるものとして、子どもたちの成長に少しでも役立つならばと思っています。

《環境》

- ・たくさんの子が教室に来たときに、2人の指導員では目が届かないところが出てくると思います。
- ・高いところに上がる子や硬いボールを蹴ったりする子がいて少し危険かなと思います。子どもたちを指導してくれる人がいたらと思います。
- ・自分の子どもがいる学年だけでなく、他の学年の子どもにも興味を持ってくれる方が増えれば、安全管理員をやってくれる方が多くなるのではないかと思います。
- ・文化芸術活動や交流活動で地域の方々とふれあい、いろいろな体験ができ、子どもたちも楽しそうです。たくさんの方に協力してもらいたいです。
- ・十分な遊び道具も備わっており、子どもたちも満足して過ごせているように思います。

《内容》

- ・子どもたちに放課後子ども教室でやってみたいことをアンケートなどで聞き、検討してみたいです。
- ・他地区との交流や子どもたちの興味をひく企画、お母さんたちとの交流会などをやってみたいです。また、子どもたちに届く広報活動も必要だと思います。

- ・教室は土曜日の10時からであるが、他のスポーツ行事等と重なり、今年は参加者が少なかったように思います。また、低学年の児童に対応した内容の検討もしなければならないと思います。
- ・毎回企画を用意するのは大変だと思うので、月1回くらい自由遊びやみんなで体を使って遊んだり（鬼ごっこ等）を入れてもいいのかなと思います。
- ・上級生と下級生のつながりができるような内容を考えたいです。
- ・マンネリ化してきているので、新しいものを企画したいです。

《その他》

- ・子どもが来られる土曜や日曜、祝日などに開いていないので、普段の利用者が少なく、行事中心の活動になっている。子ども教室は普段の子どもの姿の実態把握から始まるべきだと思うので、方向性について担当者間で話し合っていくことが必要だと思います。
- ・読み聞かせをやっていますが、子どもたちの意見を聞きたいです。結果や反応を求めるつもりはありませんが、自己満足では申し訳ありませんので。
- ・もう少し皆さんの時間をいただき、話し合いをしても良いと思います。
- ・地域の大人と子どもがあいさつする姿…というのはよくわからないです。今は誰でも警戒しないといけない時代なので。
- ・大きな変化はありませんが、子どもたちのいろいろな面が見られるのでいいと思います。
- ・実施地域ごとに教室の運営目的・方針に特色があるべきです。それぞれの教室でその特色を十分検討し、理解して実施しているのでしょうか。再検討が必要だと思います。
- ・親でなく、先生でなく、地域の大人との接点ができ、安心な地域社会になれば良いと思います。より多くの方々に参加してもらえるPR活動も大切だと思います。
- ・現在は、1年生だけが1時限早く教室に参加しています。できれば上級生と一斉にスタートできると上下関係が身につくと思います。
- ・子どもたちの遊びの時間を確保するために、子ども教室の開始時刻（一斉下校）の時間に協力してほしいです。
- ・行政、学校、地域の人たちがそれぞれ協力しあい、いい関係が構築されていると思います。
- ・運営にかかわる役場や学校の子どもに対する意識や関心が悪くなったと思わざるを得ない状況です。学校が統合したことで、教室が地域の子どもが参加しにくい日に開催される等、地域のお母さん方の不満の声を聞くようになりました。
- ・親はどんな思いで子どもを参加させているのでしょうか。親とスタッフが話し合う機会があれば、スタッフと子どもたちとの交流ももっとスムーズに行われるようになるのではないのでしょうか。
- ・子どもたちに注意してもらえないとき、どのように対処して良いか迷うことがありました。
- ・保護者の方にもっと参加してほしいです。
- ・教室の実行委員もアンケートの対象になるのではないのでしょうか。実行委員は直接かかわってなくても地域から広い目で見てくださいっている方々だと思います。地域の様子は直接教室にかかわっている方々よりもよくわかるのではないのでしょうか。
- ・町内会の福祉運動会がありました。子どもの数が少ないせい、小学生の参加があまり見られませんでした。その中で、子どもの選手宣誓がありました。堂々と宣誓をしました。学校教育の様子がうかがえました。
- ・地元の知識人を大いに活用してほしいです。
- ・理想と現実があります。様々な矛盾の中で思い悩むことが多々あります。一番の問題は予算の少なさのように思います。安全管理員、学習アドバイザー、ボランティアの質の向上が図れないです。
- ・物を購入するときに生涯学習課に来てもらわないといけないときがあり、お互いに大変なので改善してほしいです。
- ・子ども教室の運営に必要な備品等は市の予算で購入していただきたいです。子どもの遊び道具を私費で購入して提供してくれている人もいます。
- ・子どもたちが教室で自由に活動できるように、安全管理員の教育と目配りの指導を行うよう、生涯学習課にマニュアルを作成してほしいです。
- ・講師の確保が難しいと思いますが、できれば子ども教室で英語学習を取り上げていただきたいです。
- ・安全管理員の方に大変お世話になっています。進行するにあたってとても助けていただいています。
- ・決められた学区ではなく、全地域を対象として、月1～2回、地域の方々と交流する場所と機会を提供できればと考えます。
- ・学校側にも関心を持っていただきたいです。

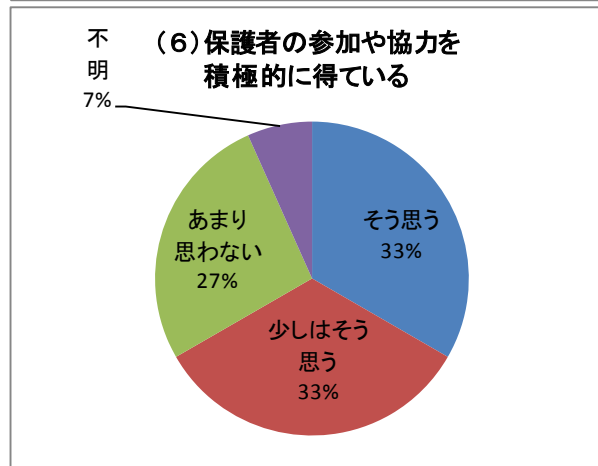
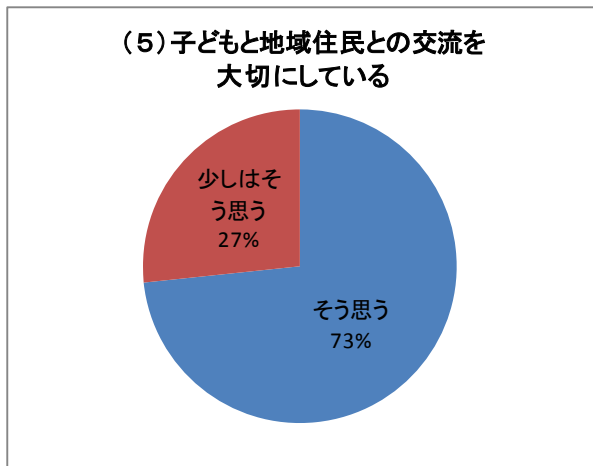
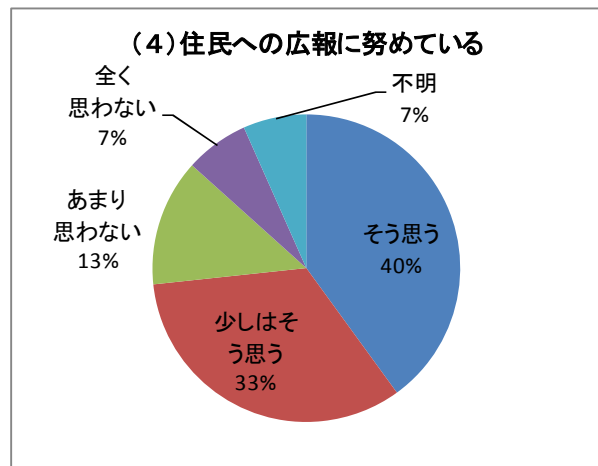
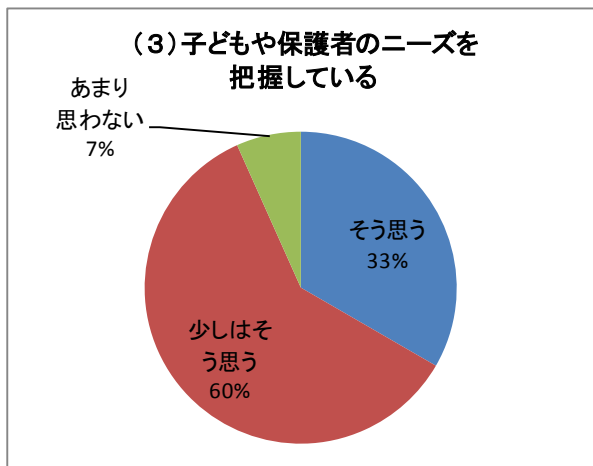
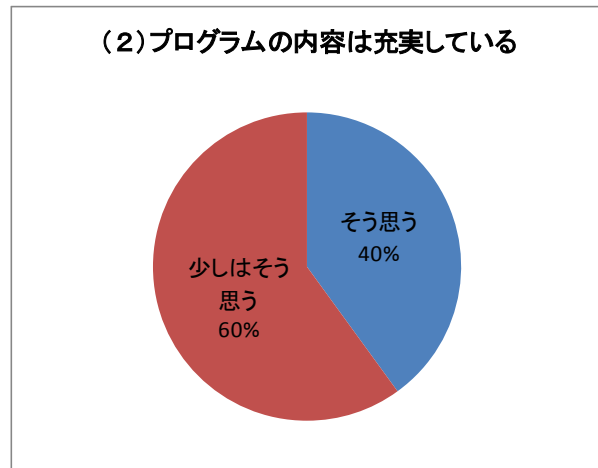
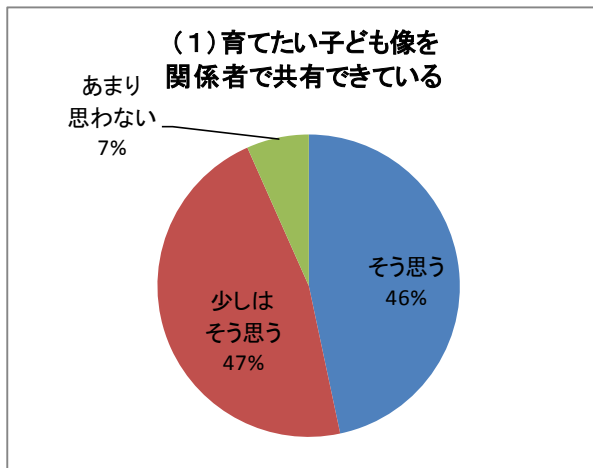
・最低でも月1回実施するためには、地域の保護者の協力が不可欠だと思います。

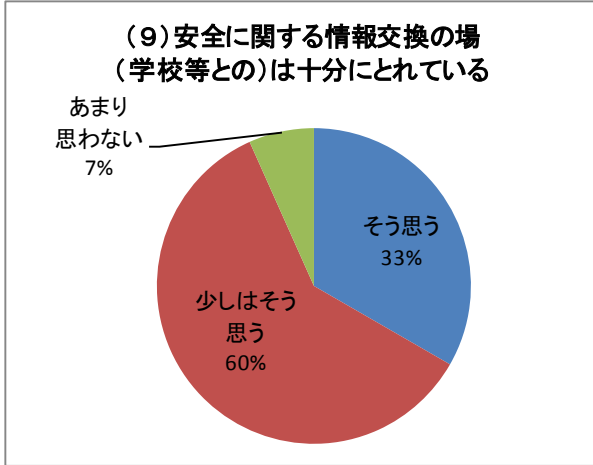
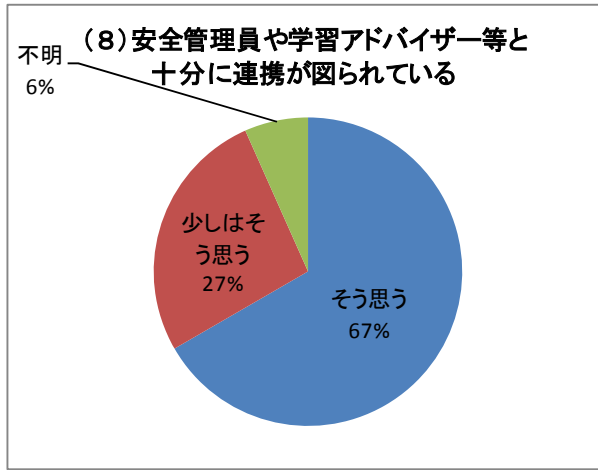
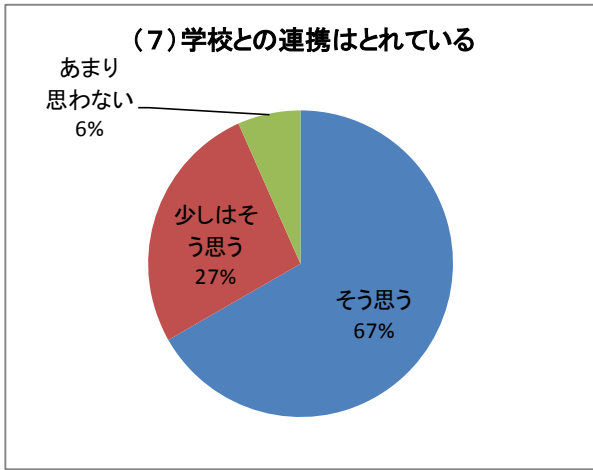
放課後子ども教室での子どもたちとのかかわりをおして、やりがいや熱意を持って教室運営にかかわっているボランティア等の声が多く聞かれた。教室での活動が、ボランティア自身の自己実現や生きがいにつながっているようである。

また、より良い教室運営のため、子どもたちや保護者、学校等との意見交換や交流の機会を求める声も多く聞かれた。放課後子ども教室が子どもの居場所としてだけでなく、地域の交流の場となるような働きかけも重要である。

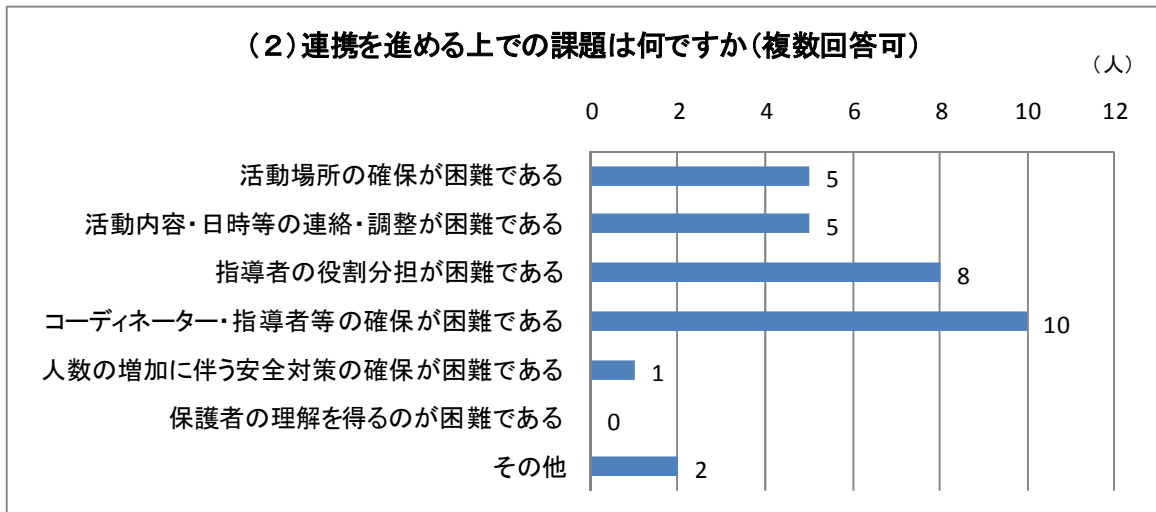
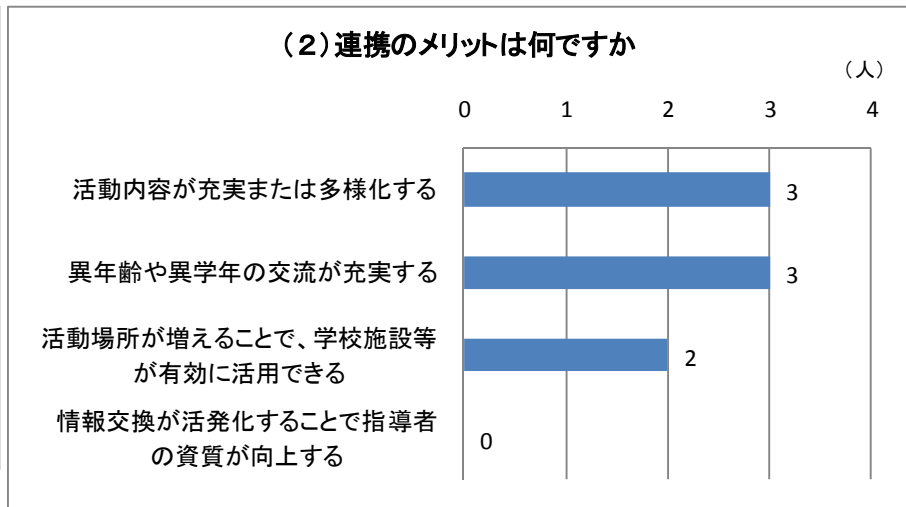
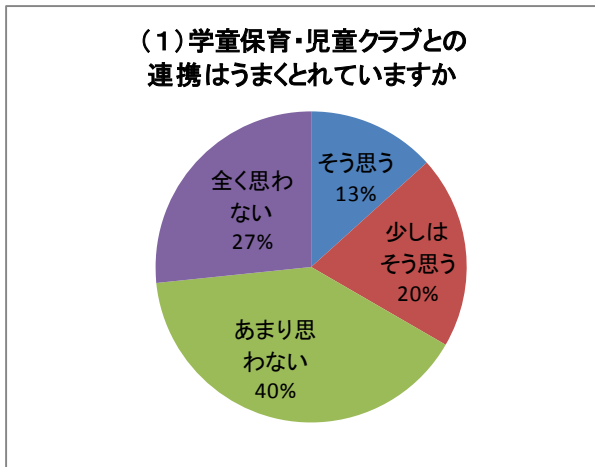
(4) 調査4：担当者、コーディネーター対象

1. 放課後子ども教室について

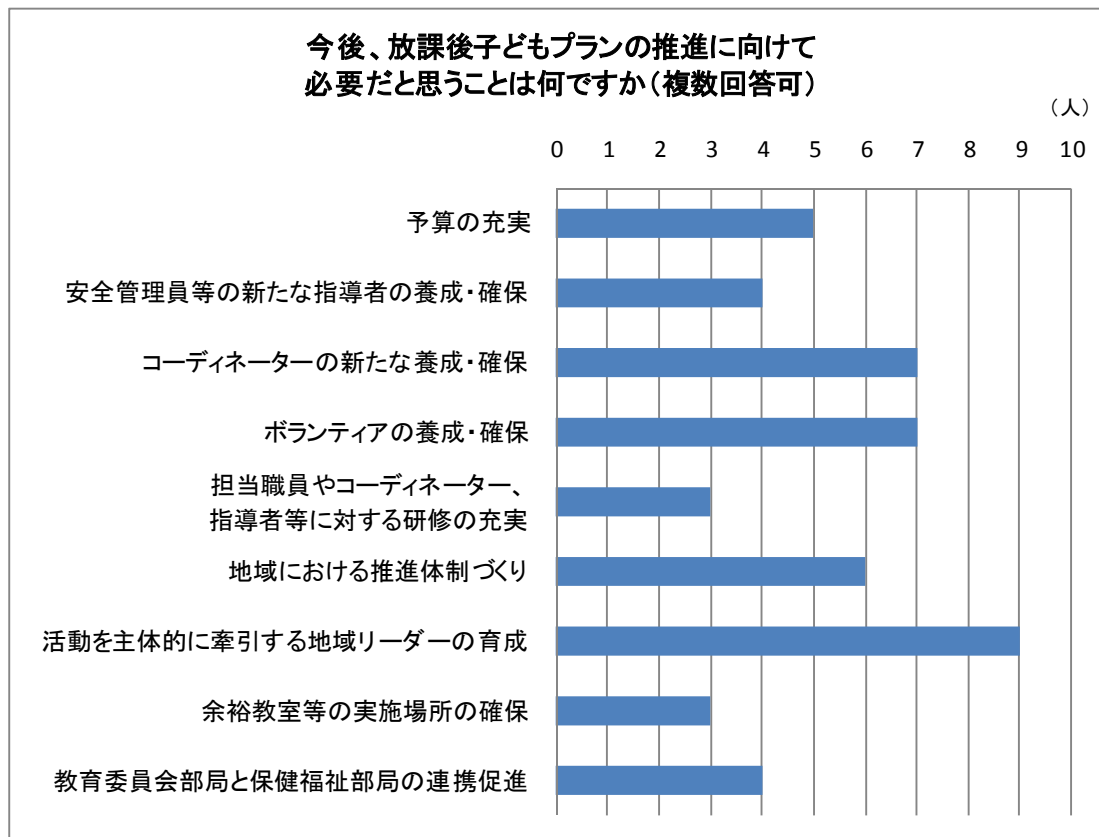




2. 学童保育・児童クラブとの連携について



3. 放課後子どもプランを推進する上で必要なこと



4. 教室の運営について

- ・小学校区が山村であり、児童は集団下校を原則としている。このため、教室へは一度下校してから出てくる事例が多い。早く安全な社会になってほしい。
- ・各教室の実態、地域の実態がそれぞれ違うので、それぞれの教室にあった運営の仕方を今後もアドバイスしていきたい。
- ・ボランティアの確保は課題であるが、少しずつ増えてきているので、今後も広報活動に力を入れていきたい。
- ・放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携は、そもそもの目的が違うので、連携に難しさを感じている。
- ・各教室の活動場所は学校、社会教育施設、民間とまちまちである。活動場所が学校の教室は学校との連携がよくとれている。活動場所が学校以外のところは学校から離れたところでの活動のため、学校の日課が変更した場合などは、予定していた児童が参加できなくなってしまうこともある。地域の大人の参加があった小規模学校の教室では、以前からあいさつや地域の大人との関わりがあったため、教室を実施してあいさつや地域の人々との関わりが増えたかという質問には「変化なし」という回答が多かった。
- ・学校とサポーターの情報の共有が必要である。
- ・待機型として1年生を対象に活動をおこなっているが、その学年以外の保護者の協力をあまり得られない。また、いろいろな体験の場を提供すべく頑張っているが、予算を自由に使えないので困難である。地域の方に指導者としてお願いすることも多いが、無償でやっていただくのは心苦しい。
- ・学習アドバイザー、安全管理員である指導員が工夫をこらし、勉強をみたり、行事を行っている様子に感心している。
- ・夏休みなどの長期休業中に、ボランティアの方々の協力により、子どもたちと交流を図ってもらった。通常の教室にも協力してくれるグループもあったので、今後も充実させたい。
- ・学習アドバイザー、安全管理員の確保・充実を図っていくためには、謝金単価等の見直しをしてほしい。
- ・放課後等の預かり施設がないなどの地域差がある。小規模校での実施方法等に対し、県等のフォローがほしい。
- ・地域における推進体制が十分に図れず、行政側の負担が非常に大きくなっている。

放課後子ども教室の趣旨をふまえ、地域住民等との交流を大切にしながら教室が運営されていることがわかった。学童保育・児童クラブとの連携や、活動を牽引する地域リーダー、活動に協力してくれるボランティア等の確保が課題となっている。研修等において、解決策を探っていく必要がある。